

Ⅲ 食品リサイクル法に基づく定期報告の内容の一部を公表することに同意いただいた事業者の一覧

年度	平成22年度実績
業種	各種食料品小売業

注1： 事業者名の順番は、再生利用等実施率が高い事業者順（同じ実施率の場合は、順不同）。

注2： 再生利用等実施率が、平成24年度までの業種別目標を達成した事業者について掲載。ただし、再生利用等実施率が最も高い事業者の方で、公表に同意されなかった方は掲載していません。

№	事業者名	発生原単位			再生利用等実施率(%)	その他の食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
1	生活協同組合コープとうきょう	売上高	0.01558	kg/千円	100.0	総合マネジメントシステムに基づく教育を実施し、分別などの手順を新入職員などに継続して普及している。
2	いばらきコープ生活協同組合	売上高	0.03574	kg/千円	100.0	全店で、生ゴミのリサイクルを推進するために、「廃棄物分別・排出手順」の教育を行った。その後力量評価を行い、理解度、実施度を把握した。
3	(株)たいらや	売上高	0.03305	kg/千円	100.0	シンポジウム及び、講習会等への参加、新任パート従業員への教育、青果物及び惣菜商品のバラ売り（裸）販売の促進。
4	三洋食品株式会社	売上高	0.15419	kg/千円	100.0	
5	(株)ジョイフルサンショッピングプラザ	売上高	0.02916	kg/千円	100.0	
6	株式会社ハッピー	売上高	0.15696	kg/千円	100.0	
7	株式会社名古屋三越	売上高	0.03164	kg/千円	100.0	
8	株式会社名鉄百貨店	売上高	0.02102	kg/千円	100.0	
9	株式会社フーズマーケットホック	売上高	0.02472	kg/千円	100.0	
10	生活協同組合コープおきなわ	売上高	0.02754	kg/千円	100.0	
11	東北大学生生活協同組合	売上高	0.00170	kg/千円	100.0	飲食店(食堂)、各種食料品小売業(購買)とも、調理品と取り扱い食品の「単品管理」活動により、食品が廃棄になることを抑制。具体的には、学事・天候(気温)・昨年実績(来店数、販売数)などを参考にして出食、仕入れ・販売を行っている。
12	株式会社北海道ジ・エイ・アール・フレッシュネス・リテール	売上高	0.03046	kg/千円	100.0	リサイクル業者と食品(生ゴミ)の再生利用(100%)に関する契約を締結。
13	株式会社中央スーパー	売上高	0.03735	kg/千円	100.0	
14	東都生活協同組合	供給高	0.02205	kg/千円	100.0	
15	西山寛商事株式会社	売上高	0.02731	kg/千円	97.7	店舗の必要箇所に食品廃棄物及びその他の廃棄物の分別表を掲示。自社ブランドとしての特殊肥料と製造販売し、社員にも啓蒙を計っている。
16	株式会社みしまや	売上高	0.01636	kg/千円	93.9	
17	生活協同組合さいたまコープ	売上高	0.00881	kg/千円	93.5	総合マネジメントシステムに基づく教育を実施し、分別などの手順を新入職員などに継続して普及している。
18	とちぎコープ生活協同組合	売上高	0.00749	kg/千円	89.0	平成23年2月より廃食油の全量をバイオディーゼル燃料の原料にし、自組織内の車両燃料の確保に寄与することにした。平成23年3月末時点においてバイオディーゼル燃料100%の車両は65台になった。
19	株式会社よしや	売上高	0.03237	kg/千円	88.3	
20	株式会社エスマート	売上高	0.02280	kg/千円	88.2	
21	生活協同組合共立社	売上高	0.02128	kg/千円	87.5	職員に対し、食品廃棄物の分別研修の実施及び分別の徹底。廃棄ロスによる食品残渣発生を抑えるため、発注精度の見直し。
22	株式会社一小イチコ	売上高	0.03190	kg/千円	86.8	

Ⅲ 食品リサイクル法に基づく定期報告の内容の一部を公表することに同意いただいた事業者の一覧

年度	平成22年度実績
業種	各種食料品小売業

注1： 事業者名の順番は、再生利用等実施率が高い事業者順（同じ実施率の場合は、順不同）。

注2： 再生利用等実施率が、平成24年度までの業種別目標を達成した事業者について掲載。ただし、再生利用等実施率が最も高い事業者の方で、公表に同意されなかった方は掲載していません。

№	事業者名	発生原単位			再生利用等実施率(%)	その他の食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
23	株式会社京王ストア	売上高	0.01453	kg/千円	86.1	
24	株式会社魚七	売上高	0.04654	kg/千円	83.2	
25	株式会社カズン	売上高	0.02054	kg/千円	82.2	
26	株式会社東武百貨店	売上高	0.02512	kg/千円	81.8	従業員が、再生利用の委託先施設の視察・見学を実施。食品販売従業員に、食品廃棄物集積場で分別状況の確認・指導を実施。廃棄物一時保管所にイラスト入りのわかり易い分別看板を設置。
27	生活協同組合コープかながわ	売上高	0.01866	kg/千円	79.2	
28	株式会社エイヴィ	売上高	0.01199	kg/千円	78.3	事業場ごとに月次の会議で廃棄物の総量、分別状況について事跡報告と改善点の検討を実施。本部においては、売れ残りによる廃棄高を月次で把握し全社的な対策を速やかに実施。
29	株式会社セレクション	売上高	0.03641	kg/千円	77.6	
30	株式会社フジタコーポレーション	売上高	0.04405	kg/千円	76.6	「食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律第19条1項の規定に基づく再生利用事業計画の認定について」認定をうけ実施中。1トンの生ごみ処理機を4台本部事業所に設置完了し、22年4月より稼動に入ったが、機械の故障が多く、仕様書とかけ離れた実績となり、手段の検討をすすめている。
31	生活協同組合ララコープ	売上高	0.00762	kg/千円	75.4	環境取り組み全般の教育の中で、生ごみ堆肥化についての状況報告と正確な排出量の把握と報告を行うことについて確認した。
32	株式会社東武宇都宮百貨店	売上高	0.02064	kg/千円	75.0	
33	ハーベスト株式会社	売上高	0.05751	kg/千円	73.9	社内報や社内ミーティング更に新入社員教育で啓蒙活動を実施している。
34	株式会社スズキヤ	売上高	0.01827	kg/千円	73.0	年1回飼料化実施の店長による資源化先の見学会を実施。
35	株式会社サンヨネ	売上高	0.01738	kg/千円	72.9	
36	生活協同組合ちばコープ	売上高	0.00316	kg/千円	72.6	生ゴミ処理機（5台導入）から生成するたい肥を県内お米生産者の栽培に利用していただき、商品で供給するする試みを進めている。
37	株式会社いちい	売上高	0.04142	kg/千円	72.2	
38	株式会社マミーマート	売上高	0.02524	kg/千円	70.9	年1回再利用の委託先の見学会の実施。
39	株式会社マエダ	売上高	0.02218	kg/千円	70.0	
40	株式会社丸江	売上高	0.03529	kg/千円	69.8	宮城県栗原市栗駒の岩ヶ崎店に生ゴミ処理機を導入した。
41	マックスバリュ中部株式会社	売上高	0.01942	kg/千円	69.1	再生利用の委託先の視察を実施。再生利用の委託先の新規契約（再生利用の拡大）。
42	株式会社ラルズ	売上高	0.04626	kg/千円	69.0	
43	株式会社大阪屋ショップ	売上高	0.02046	kg/千円	68.4	
44	株式会社原信	売上高	0.02361	kg/千円	67.5	社内用に環境教育テキストを発行し、毎年1回、廃棄物減量、リサイクルに関する教育の実施。社内行事での、啓蒙活動の実施。

Ⅲ 食品リサイクル法に基づく定期報告の内容の一部を公表することに同意いただいた事業者の一覧

年度	平成22年度実績
業種	各種食料品小売業

注1： 事業者名の順番は、再生利用等実施率が高い事業者順（同じ実施率の場合は、順不同）。

注2： 再生利用等実施率が、平成24年度までの業種別目標を達成した事業者について掲載。ただし、再生利用等実施率が最も高い事業者の方で、公表に同意されなかった方は掲載していません。

№	事業者名	発生原単位			再生利用等実施率(%)	その他の食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
45	株式会社マスタ	売上高	0.03626	kg/千円	66.3	従業員に対する食品循環資源分別マニュアルの教育・指導及び循環型商品の販売促進。
46	株式会社九九プラス	売上高	0.01818	kg/千円	65.4	
47	富士シティオ株式会社	売上高	0.02776	kg/千円	65.0	
48	福井県民生活協同組合	売上高	0.02059	kg/千円	65.0	食品廃棄物を再生資源として処理した肥料等を、自生協が提携する産直生産者の畑で活用し、その商品を生協の店舗で販売。また、食用油のリサイクルを広げるために、組合員家庭での廃食油のリサイクル回収を行っている。
49	株式会社ウジェスーパー	売上高	0.05249	kg/千円	64.3	
50	マックスバリュ東北株式会社	売上高	0.02003	kg/千円	63.6	
51	株式会社エコス	売上高	0.02978	kg/千円	63.5	再生利用事業計画認定済。飼料化の為の食品循環資源回収店舗の拡大。食品循環資源分別マニュアルの再構築と教育強化による回収量のアップ。
52	株式会社ムーミー	売上高	0.04111	kg/千円	63.5	食品廃棄物を少しでも減らすため、作りすぎを控え、ロスの低減にも取り組んでいる。
53	株式会社京阪ザ・ストア	売上高	0.03477	kg/千円	62.5	
54	株式会社タカヤナギ	売上高	0.04122	kg/千円	62.3	
55	株式会社スーパーナショナル	売上高	0.01859	kg/千円	62.1	
56	株式会社郷野目ストア	売上高	0.02266	kg/千円	62.1	店内各部門すべてに食品廃棄物およびその他の廃棄物の日別管理の徹底、各団体からの情報の掲示。再利用委託先などへの情報交換等の実施。
57	株式会社綿半ホームエイド	売上高	0.05886	kg/千円	62.0	
58	生活協同組合ひろしま	売上高	0.04110	kg/千円	62.0	フードバンク事業に3店舗が参加。ドライ商品を無償提供し、フードバンク団体を通じて福祉団体等へ配分されている。
59	株式会社山彦	売上高	0.02392	kg/千円	61.2	
60	いわて生活協同組合	売上高	0.01591	kg/千円	61.2	
61	株式会社A コープ西日本	売上高	0.03877	kg/千円	60.6	
62	株式会社カスミ	売上高	0.02878	kg/千円	60.4	生ごみリサイクル実施店舗の拡大。
63	イオンスーパーセンター株式会社	売上高	0.02225	kg/千円	60.3	
64	株式会社ヤマナカ	売上高	0.02569	kg/千円	60.1	毎年、新入社員に対し廃棄物の現状と分別の研修を実施。店舗開設に当たっては、全従業員に対し廃棄物の取り扱い研修を実施。
65	(有)なりざわ	売上高	0.17872	kg/千円	59.8	
66	生活協同組合コープぐんま	売上高	0.00841	kg/千円	59.6	2010年度は供給高の低下（利用人数の減少）が著しい小型店6店舗を閉店し、宅配センターも2センターを1センターに統合し、コストダウンに取り組んだ。この結果、食品廃棄物の総量も減少した。
67	株式会社パレ	売上高	0.03624	kg/千円	59.4	

Ⅲ 食品リサイクル法に基づく定期報告の内容の一部を公表することに同意いただいた事業者の一覧

年度	平成22年度実績
業種	各種食料品小売業

注1： 事業者名の順番は、再生利用等実施率が高い事業者順（同じ実施率の場合は、順不同）。

注2： 再生利用等実施率が、平成24年度までの業種別目標を達成した事業者について掲載。ただし、再生利用等実施率が最も高い事業者の方で、公表に同意されなかった方は掲載していません。

№	事業者名	発生原単位			再生利用等実施率(%)	その他の食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
68	ユニー株式会社	売上高	0.03564	kg/千円	59.0	お客様を招待し、再生利用の委託先や農場の見学、野菜の収穫体験を行う消費者交流会を実施。環境関連事業者による再生利用委託先の見学会を実施。新規店舗開店時等に、弊社及びテナント従業員に対し食品廃棄物の分別教育を実施。
69	株式会社マルフジ	売上高	0.02234	kg/千円	58.5	従業員に食品リサイクル法の説明会を実施し、食品循環資源の再生利用の意識付けをおこなう。
70	株式会社三味	売上高	0.03633	kg/千円	58.5	
71	株式会社トヨタ	売上高	0.03161	kg/千円	57.2	自社配送用トラックの燃料として、BDFを使用。
72	株式会社ハートフレンド	売上高	0.03632	kg/千円	56.9	食品廃棄物を焼却ごみに出さず、リサイクルセンターへの持ち込み店舗を増加した。
73	南さつま農業協同組合	売上高	0.02471	kg/千円	56.7	
74	エヌ・ピー・ジー・エムエスネットワーク株式会社	売上高	0.03950	kg/千円	55.7	
75	株式会社シンナゴヤトレード	売上高	0.02857	kg/千円	55.4	
76	テスコジャパン株式会社	売上高	0.01466	kg/千円	54.4	2009年7月より一部店舗（6店舗）にて再生利用の取組をスタートし、その後、2011年3月末の段階で計30店舗まで対象店舗を増やした。
77	株式会社マルマン	売上高	0.06252	kg/千円	53.3	
78	株式会社関西スーパーマーケット	売上高	0.02581	kg/千円	53.2	店舗バックヤードから排出される「野菜クズ」や食品廃棄物のリサイクル(堆肥化)を兵庫県神戸市内にて実施検討中。
79	生活協同組合コープみやざき	売上高	0.03670	kg/千円	52.7	平成22年9月より2店舗で肉、魚を除く食品廃棄物の飼料化をおこなった。及び物流センターの廃棄物の飼料化をおこなった。
80	イオン北海道株式会社	売上高	0.03616	kg/千円	52.7	
81	株式会社キヌヤ	売上高	0.05339	kg/千円	52.6	
82	株式会社ベシシア	売上高	0.02542	kg/千円	52.1	
83	北雄ラッキー株式会社	売上高	0.03431	kg/千円	52.1	食品廃棄物、事業系廃棄物、産業廃棄物など店舗における発生状況を月度で数値化し店舗にフィードバックし、異常値を発見した場合には調査検討し改善活動を実施。（PCDA）
84	イズミヤ株式会社	売上高	0.02906	kg/千円	52.0	
85	株式会社阪急阪神百貨店	売上高	0.02217	kg/千円	51.1	
86	小田急商事株式会社	売上高	0.04889	kg/千円	51.1	店舗巡回と指導、及び新たな再資源再生業者との取組。
87	株式会社光洋	売上高	0.07000	kg/千円	50.6	食品循環及び廃棄物についての社内勉強会の実施。再資源化施設への見学会の実施。食品リサイクルに関する講習会への参加。
88	生活協同組合コープあいち	売上高	0.02820	kg/千円	50.1	弊社大高店にて名古屋市の「おかえりやさい」として、食品廃棄物よりできた堆肥を使用して生産した野菜類の販売を行っている。店舗の惣菜部門で菜種油を使用し、その廃食油を業者にてバイオディーゼル燃料にして配達車輛の燃料に使用している。
89	株式会社小田原百貨店	売上高	0.01893	kg/千円	49.8	店内の必要箇所すべてに食品廃棄物及びその他の分別表を掲示。弊社社員に月1回、食品廃棄物研修を実施。年複数回委託先見学を実施。

Ⅲ 食品リサイクル法に基づく定期報告の内容の一部を公表することに同意いただいた事業者の一覧

年度	平成22年度実績
業種	各種食料品小売業

注1： 事業者名の順番は、再生利用等実施率が高い事業者順（同じ実施率の場合は、順不同）。

注2： 再生利用等実施率が、平成24年度までの業種別目標を達成した事業者について掲載。ただし、再生利用等実施率が最も高い事業者の方で、公表に同意されなかった方は掲載していません。

№	事業者名	発生原単位			再生利用等実施率(%)	その他の食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
90	えぶろんフーズ株式会社	売上高	0.04306	kg/千円	49.6	8月より野菜くずのリサイクルを開始。
91	株式会社エブリイ	売上高	0.03264	kg/千円	49.5	魚のアラと廃食油については再生利用を行っていたが、平成22年度から2店舗で発生している食品循環資源の再生利用及び全店舗での牛脂の再生利用を開始した。
92	みやぎ生活協同組合	売上高	0.04397	kg/千円	49.3	
93	株式会社三原スーパー	売上高	0.02040	kg/千円	49.3	食品残渣、一般ゴミの分別徹底。
94	株式会社サカガミ	売上高	0.04388	kg/千円	48.6	各店の毎月の破棄ロス報告させる。売り切りの努力をする事で廃棄ロスを減らす。
95	株式会社ヒダカヤ	売上高	0.03913	kg/千円	48.3	店長会議等で、食品リサイクル・廃棄ロス減量についての学習会を行った。
96	サミット株式会社	売上高	0.04119	kg/千円	48.0	生ゴミリサイクル実施店舗を増やす。
97	株式会社京成ストア	売上高	0.02485	kg/千円	47.9	
98	紀南農業協同組合	売上高	0.04100	kg/千円	47.0	
99	株式会社マルエツ	売上高	0.04086	kg/千円	46.5	
100	株式会社日本レストランエンタプライズ	売上高	0.02100	kg/千円	46.4	
101	イオンリテール株式会社	食品売上高	0.05052	kg/千円	46.1	生ゴミ処理機のリースアップ時期を踏まえ、計画的な外部委託への切替。ISO取組目標の一環として、「食品の廃棄売上の削減（0.65%）」組み込み、売切の促進。
102	京都生活協同組合	売上高	0.01021	kg/千円	45.9	
103	生活協同組合コープあいづ	売上高	0.02309	kg/千円	45.9	
104	株式会社平和堂	売上高	0.03565	kg/千円	45.8	
105	株式会社中央フード	売上高	0.02928	kg/千円	45.8	
106	株式会社クリシマ	売上高	0.02770	kg/千円	45.5	生鮮食品のタイムサービス販売にて廃棄ロスの軽減。生鮮食品の少量パック販売による使い切り。
107	株式会社PLANT	売上高	0.03651	kg/千円	45.1	精肉作業場から発生する食肉残渣を全量管理。
108	マックスバリュ中京株式会社	売上高	0.02591	kg/千円	45.0	中部地方環境事務所主催の「中部地方における地域循環圏の構築に向けた検討業務」の地域協議会（岐阜東南地域）に参画。

III 食品リサイクル法に基づく定期報告の内容の一部を公表することに同意いただいた事業者の一覧

年度	平成22年度実績	注1： 事業者名の順番は、再生利用等実施率が高い事業者順（同じ実施率の場合は、順不同）。
業種	食肉小売業	注2： 再生利用等実施率が、平成24年度までの業種別目標を達成した事業者について掲載。ただし、再生利用等実施率が最も高い事業者の方で、公表に同意されなかった方は掲載していません。

№	事業者名	発生原単位			再生利用等実施率(%)	その他の食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
1	株式会社人形町今半	売上高	0.05370	kg/千円	99.2	社内リサイクル委員会の活動。
2	株式会社平田牧場	売上高	0.07648	kg/千円	83.9	
3	明治屋産業株式会社	売上高	0.01555	kg/千円	60.2	

III 食品リサイクル法に基づく定期報告の内容の一部を公表することに同意いただいた事業者の一覧

年度	平成22年度実績	注1： 事業者名の順番は、再生利用等実施率が高い事業者順（同じ実施率の場合は、順不同）。
業種	鮮魚小売業	注2： 再生利用等実施率が、平成24年度までの業種別目標を達成した事業者について掲載。ただし、再生利用等実施率が最も高い事業者の方で、公表に同意されなかった方は掲載していません。

№	事業者名	発生原単位			再生利用等実施率(%)	その他の食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
1	株式会社兼高	売上高	0.05019	kg/千円	100.0	
2	株式会社森田水産	売上高	0.08410	kg/千円	100.0	
3	中村屋鮮魚販売株式会社	売上高	0.19528	kg/千円	100.0	
4	株式会社鮮魚河瀬	売上高	0.24000	kg/千円	100.0	
5	株式会社旬	売上高	0.10174	kg/千円	100.0	
6	株式会社マツモト	売上高	0.08954	kg/千円	98.0	
7	有限会社魚吉	売上高	0.09955	kg/千円	98.0	
8	相栄フーズ株式会社	売上高	0.10657	kg/千円	97.7	
9	株式会社鈴木水産	売上高	0.05307	kg/千円	91.8	
10	株式会社清次郎	売上高	0.07902	kg/千円	59.0	

Ⅲ 食品リサイクル法に基づく定期報告の内容の一部を公表することに同意いただいた事業者の一覧

年度	平成22年度実績
業種	菓子・パン小売業

注1： 事業者名の順番は、再生利用等実施率が高い事業者順（同じ実施率の場合は、順不同）。

注2： 再生利用等実施率が、平成24年度までの業種別目標を達成した事業者について掲載。ただし、再生利用等実施率が最も高い事業者の方で、公表に同意されなかった方は掲載していません。

№	事業者名	発生原単位			再生利用等実施率(%)	その他の食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
1	日本ホテル株式会社	売上高	0.03177	kg/千円	100.0	食材の無駄を省き節約の意識向上を図る。日々の指導と循環再生率の数値目標の掲出。
2	文明堂製菓株式会社	売上高	0.02345	kg/千円	100.0	製造部内での分別回収を徹底。
3	株式会社十勝大福本舗	売上高	0.00587	kg/千円	100.0	
4	伊藤製パン株式会社	製造数量	60.40210	kg/t	100.0	
5	株式会社中村屋	売上高	0.00959	kg/千円	87.7	
6	株式会社札幌パリ	売上高	0.26888	kg/千円	61.3	従業員への分別徹底の説明の継続・強化。
7	株式会社虎屋	売上高	0.04691	kg/千円	58.5	2009年2月1日より、練り羊羹について、賞味期限を9ヶ月から12ヶ月に改定した。更に、『賞味期限後1年間食べる事ができる』旨の表示を商品箱前面に掲載した。食品として安全なうちは、お客様に捨てずに食べていただく事が、弊社としても一番の喜びであり、こうした社会へのメッセージを今後も発信していく。

Ⅲ 食品リサイクル法に基づく定期報告の内容の一部を公表することに同意いただいた事業者の一覧

年度	平成22年度実績
業種	その他の飲食料品小売業

注1： 事業者名の順番は、再生利用等実施率が高い事業者順（同じ実施率の場合は、順不同）。

注2： 再生利用等実施率が、平成24年度までの業種別目標を達成した事業者について掲載。ただし、再生利用等実施率が最も高い事業者の方で、公表に同意されなかった方は掲載していません。

№	事業者名	発生原単位			再生利用等実施率(%)	その他の食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
1	井筒まい泉株式会社	売上高	0.03391	kg/千円	100.0	ISO14001認証取得に向けてEMS（環境マネジメントシステム）構築に取組中。
2	有限会社平安商店	売上高	0.82200	kg/千円	100.0	年1回再生利用委託先工場の見学。
3	株式会社新潟農商	精米事業売上高	0.33362	kg/千円	100.0	作付後の水田除草剤の代替資材として提案。
4	株式会社ポテトデリカ	生産数量	161.66475	kg/t	100.0	工場内からの残渣はバイオメタン発酵にてメタンガスへ変換しボイラーにて燃焼させ蒸気を利用している。
5	株式会社サンフレッシュ	売上高	0.12342	kg/千円	95.4	
6	有限会社白川冷蔵	売上高	0.70127	kg/千円	93.9	肥料化しやすいように、大きな野菜残さを粉碎している。
7	相栄フーズ株式会社	売上高	0.03978	kg/千円	73.2	
8	株式会社デリカ・アイフーズ	売上高	0.05825	kg/千円	65.6	再生利用委託先の見学頻度を上げ、理解度を深めた。
9	生活協同組合コープしずおか	売上高	0.01786	kg/千円	64.1	毎年度CSR報告書を作成し、取り組み状況をステークホルダーに開示している。ISO14001の認証を受け、取り組み内容の適合性を評価している。
10	株式会社伊藤組	売上高	0.07525	kg/千円	57.4	
11	紀南農業協同組合	売上高	0.03225	kg/千円	48.8	
12	ミニストップ株式会社	売上高	0.03359	kg/千円	48.0	
13	岩田食品株式会社	売上高	0.01949	kg/千円	46.6	年一回の委託業者視察実施。工場から排出される残さに関し、飼料化可能な品目については積極的に適用する。